

Sapid インストールマニュアル

– CentOS 64bit –

愛知県立大学 大久保研究室

稲熊亮介

平成 29 年 1 月 27 日

1 使用する OS, パッケージの環境

Sapid を導入するために使用する OS, パッケージ等の環境を以下に示す.

OS, パッケージ	バージョン
CentOS	7.1.1511
Sapid	6.104.4
gcc	4.8.5-4
g++	4.8.5-4
flex	2.5.37
bison	2.7
openjdk	1.8.0.65-2
ant	1.9.2
tk-dev	8.5.13-6
imake	1.0.5-10
libXt	1.1.4-6.1
libxml2	2.9.1-5

表 1: 使用する OS, パッケージ

2 Sapid 導入のための準備

パッケージをインストールするためには root 権限が要求されるので, 以下のコマンドを入力する.

```
$ su
```

以下のコマンドを入力し, パッケージをインストールする.

```
# yum -y install gcc
# yum -y install gcc-c++
# yum -y install flex
# yum -y install bison
# yum -y install java-1.8.0-openjdk-devel.x86_64
# yum -y install ant
# yum -y install tk-devel.x86_64
# yum -y install imake.x86_64
# yum -y install libXt-devel.x86_64
# yum -y install libxml2-devel.x86_64
```

インストールしたパッケージのバージョンを確認するために以下のコマンドを入力する。

```
# yum list | grep パッケージ
```

次にホームディレクトリに移動し `.bashrc` 内で `JAVA_HOME` のパスを指定する。 `.bashrc` に書き込むには `vi` コマンドを用いる。以下は `.bashrc` に書き込む内容である。

```
JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/java-1.8.0-openjdk
export JAVA_HOME

PATH=$JAVA_HOME/bin:$PATH
export PATH
```

パスを設定するために以下のコマンドを入力する。

```
# source ~/.bashrc
```

3 Sapid のインストール

Sapid を配布しているサイト [1] から最新版をダウンロードし、解凍する。以下はそのコマンドである。

```
# wget http://www.sapid.org/FTP-CURRENT/Sapid-6.104.4.tar.gz
# tar xvzf Sapid-6.104.4.tar.gz
```

解凍した Sapid のトップディレクトリ (`Sapid-6.104.4`) に移動し、以下のコマンドを入力する。

```
# xmkmf -a 2>&1 | xmkmf_log
# make 2>&1 | tee make_log
# make install 2>&1 | tee make-install_log
```

「|」に続く `tee` コマンドはログを保存するためのものである。次にホームディレクトリに移動し、`./bashrc` に以下の内容を書き込む。

```
if [ -f /usr/local/Sapid/lib/SetUp.sh ]; then
    . /usr/local/Sapid/lib/SetUp.sh
fi
```

4 動作テスト

4.1 準備

動作テストを行う際に,glibc を用意する必要がある [2] ので, 以下のコマンドを入力し glibc をインストールする.

```
# yum install glibc-devel.i686
```

以下のコマンドを入力し, テスト用のディレクトリをホームディレクトリにコピーする.

```
# cp -r /usr/local/Sapid/sample/test ~/
```

4.2 dhrystone-2.1 のテスト

~/test/dhrystone-2.1 に移動し, 以下のコマンドを入力する.

```
# mkSapid -a | tee mkSapid_log
# make test-all | tee dhrystone_log
```

「Sapid: Test: dhry: Passed.」と表示されればテストは成功である.

4.3 java-zip のテスト

次に java のテストを行うために~/test/java-zip に移動し, 以下のコマンドを入力する.

```
# mkSapid -a | tee mkSapid_java
# make test-all | tee java-zip_log
```

「Sapid: Test: java-zip: Passed.」と表示されればテストは成功である.

参考文献

[1] Sapid Home Page (in Japanese), <http://www.sapid.org/index-ja.html>

[2] CentOS 6.4 で 32bit 環境の整備, <http://kohchi.hatenablog.com/entries/2014/05/01>